

# 外来種被害防止行動計画

## 全体の基盤となる対策

1. 普及啓発と教育の推進 …国民の理解・外来種対策の社会的主流化
2. 優先度を踏まえた外来種対策の推進 …各レベルにおける対策すべき対象の明確化
7. 情報基盤の構築 …情報の収集と提供のための基盤の構築  
調査研究の推進 …侵略的外来種に関する生理生態・防除技術・被害軽減に関する知見の集積

### 導入・逸出の防止（予防）

3. 侵略的外来種の導入の防止
  - (1) 意図的に導入される外来種の適正管理  
→外来種の特性及び、逸出の可能性を踏まえた対策
  - (2) 非意図的導入の予防  
→侵略的外来種へのリスク評価と管理

### 防除の推進

4. 効果的、効率的な防除の推進  
→被害防止・影響軽減  
→限られた労力の選択と集中  
→主体間の連携と役割分担

### 地域的固有性の維持保全

5. 在来個体群のある外来種への対応 →生物多様性の地域的固有性の保全
6. 同種の生物導入による遺伝的攪乱に関する対応 →種の多様性・固有性の保全

2020年愛知目標の達成

図1. 行動計画の構造  
（「第1章 基本認識及び目標」に挿入）

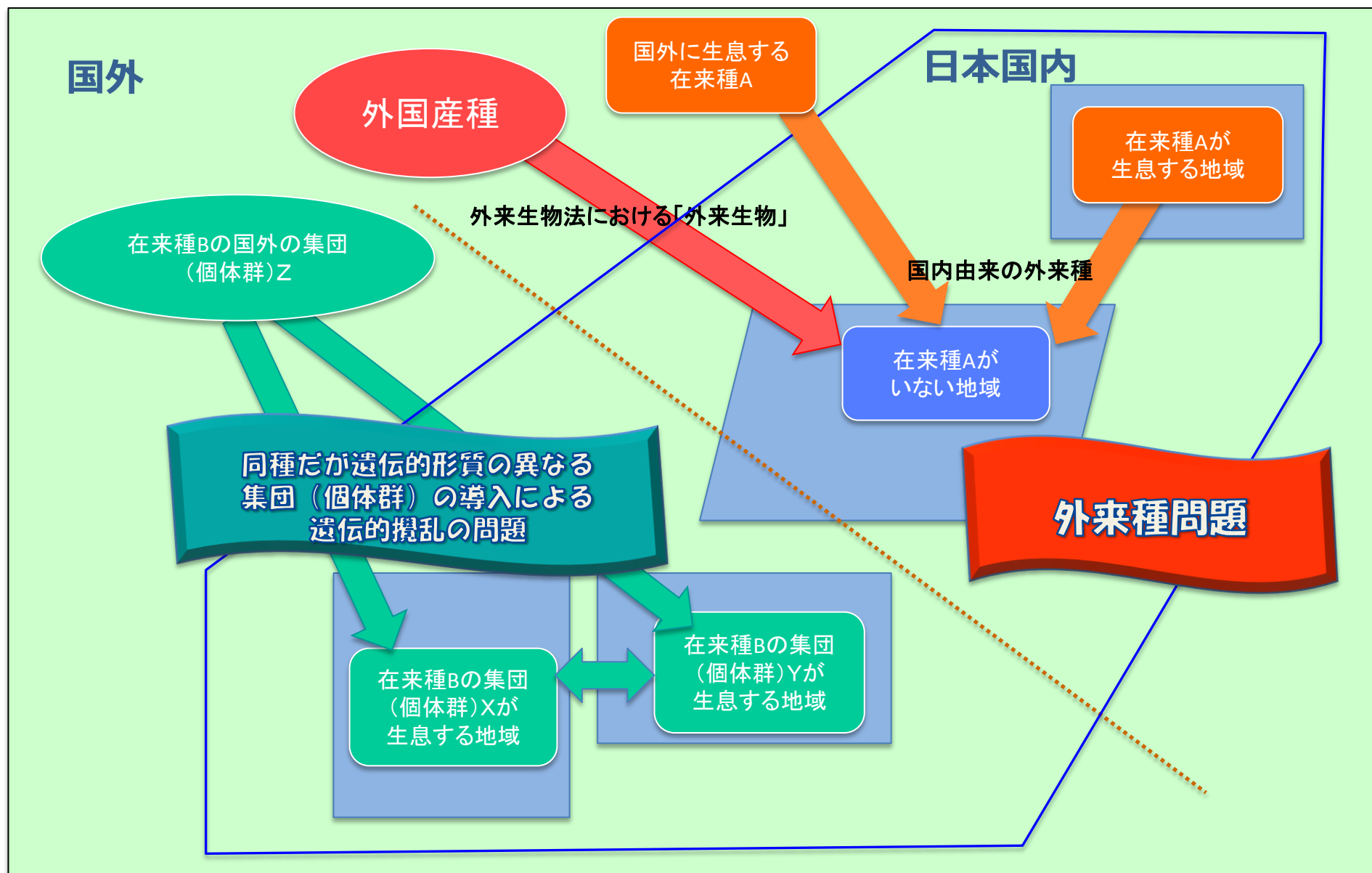


図2. 外来種問題の概念図  
(「第1章 基本認識及び目標」に挿入)

## 農林水産業に係る被害

## 食害等

- アライグマ等による農産物の食害
- ヌートリアによる農産物の食害や畦の破壊

## 通水阻害

- カワヒバリガイによる用水路等の通水阻害

## 文化財の汚損等

- アライグマの糞害・入り込みによる文化財汚損
- ブラックバスの捕食に起因するニゴロブナ減少による食文化伝承の危機

## 悪臭発生

- 外来水草類の大量発生・枯死後の悪臭

## 景観・構造物の汚損

- ムラサキイガイ等による構造物の汚損
- オオキンケイギクによる自然景観の変容

## その他の被害

## 治水・利水への影響・被害

- ハリエンジュ等が河道内で高木林を形成することによる安全な流下の阻害

## 生態系に係る被害

## 捕食

- マングースの捕食による希少動物の減少
- ブラックバスの捕食による水生生物の減少
- グリーンアノールの捕食による固有種の減少

## 競合

- 在来種との生息域・餌等の様々な競合

## 交雑

- アカゲザルとニホンザルの交雑
- チュウゴクモクズガニと在来モクズガニ属との交雑のおそれ
- オオサンショウウオとチュウゴクオオサンショウウオの交雑

## 寄生生物・感染症の媒介

- 外来種に随伴して侵入した寄生生物等による被害のおそれ
- 人畜共通感染症を媒介するおそれ

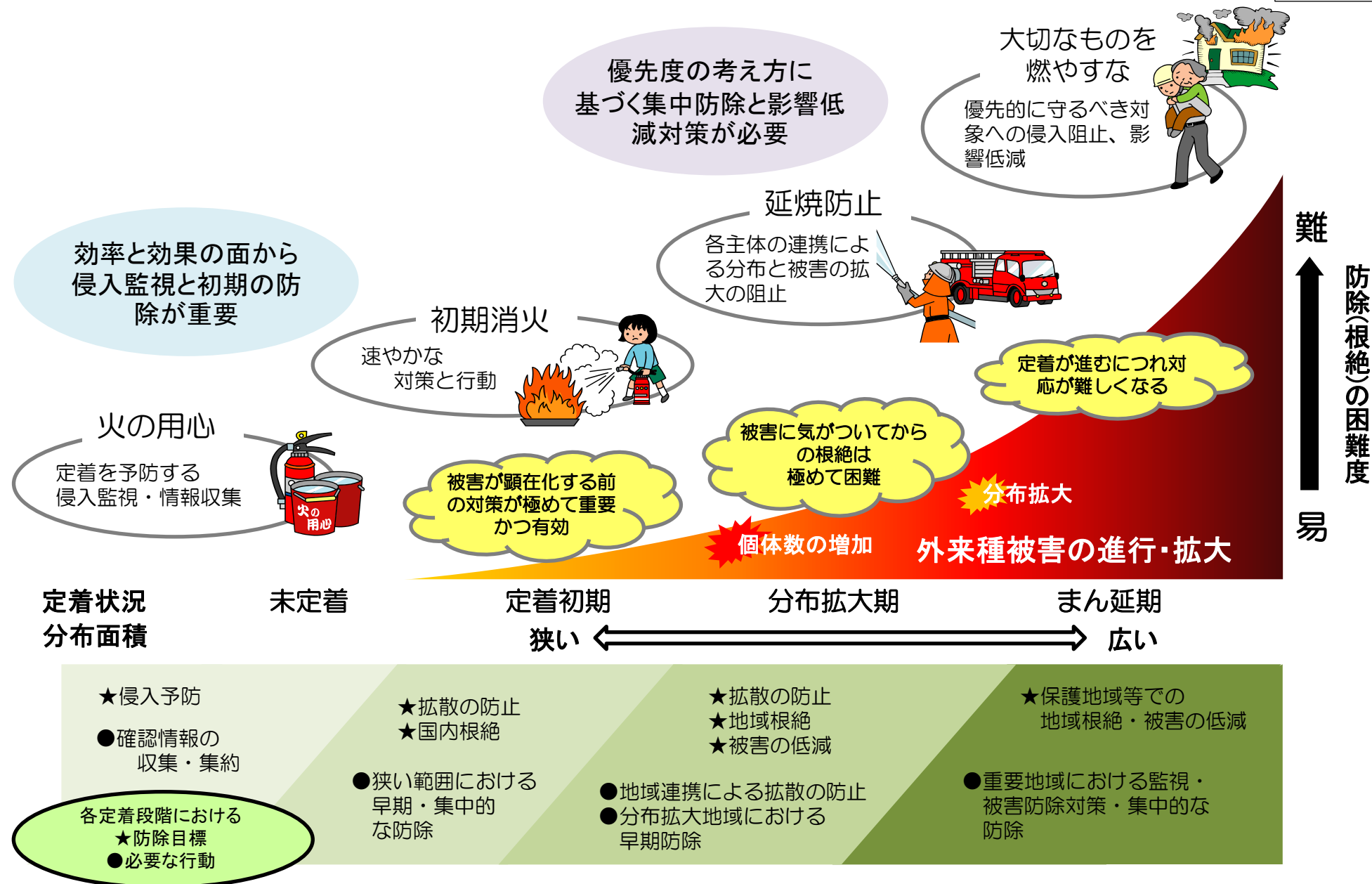
## 咬傷等

- セアカゴケグモ、カミツキガメ、ヒアリ、台湾ハブ等による咬傷等やそのおそれ

## 人の生命または身体に係る被害

図3. 侵略的外来種による様々な被害

(「第1章 基本認識及び目標  
第1節 外来種問題の基本認識」に挿入)



**図4. 侵略的外来種の定着状況と防除の困難度**  
 （「第1章 基本認識及び目標 第1節 外来種問題の基本認識」に挿入）

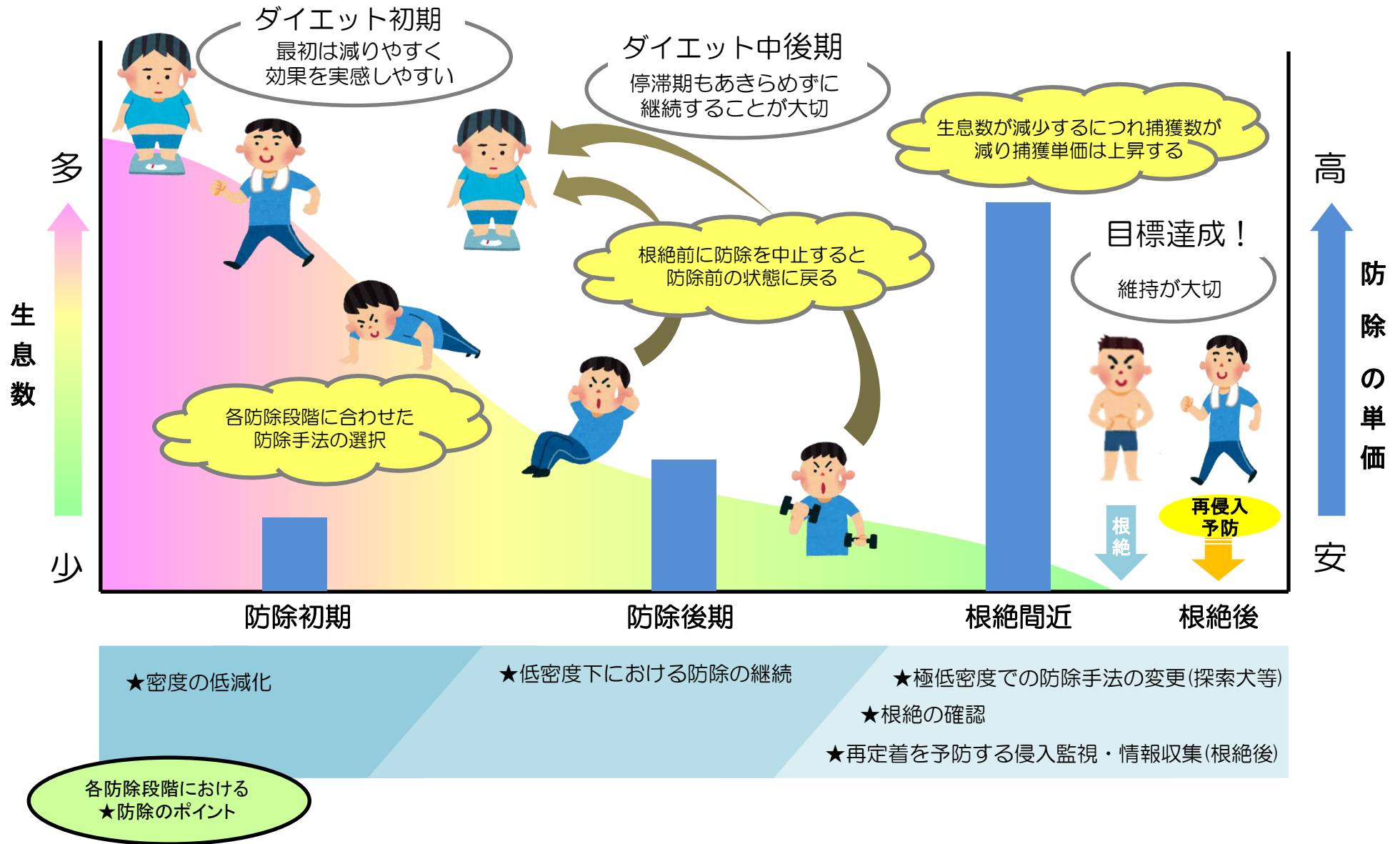


図5. 蔓延した侵略的外来種を根絶させるまでの  
防除段階ごとの防除の留意点

(「第1章 基本認識及び目標  
第1節 外来種問題の基本認識」に挿入)



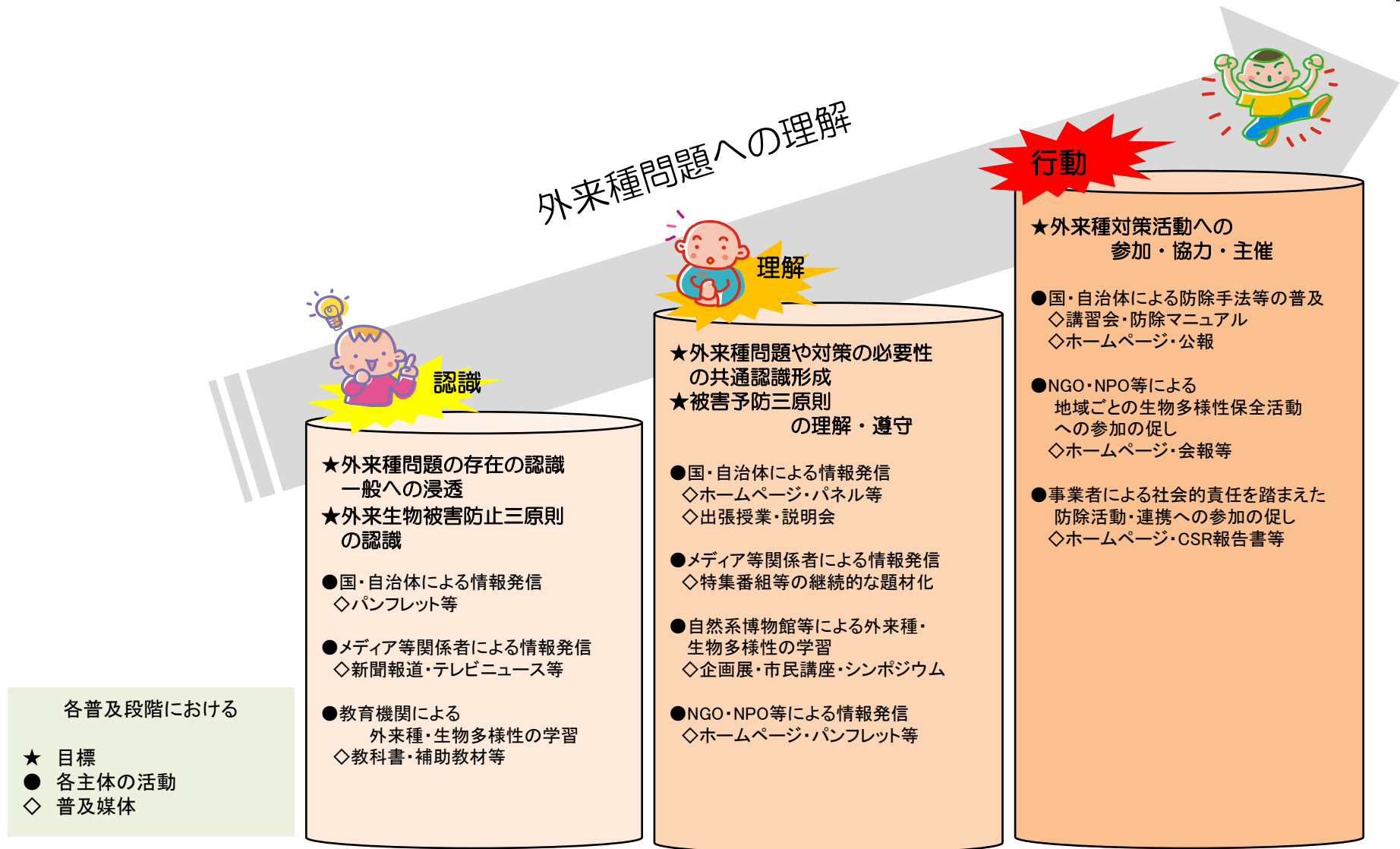
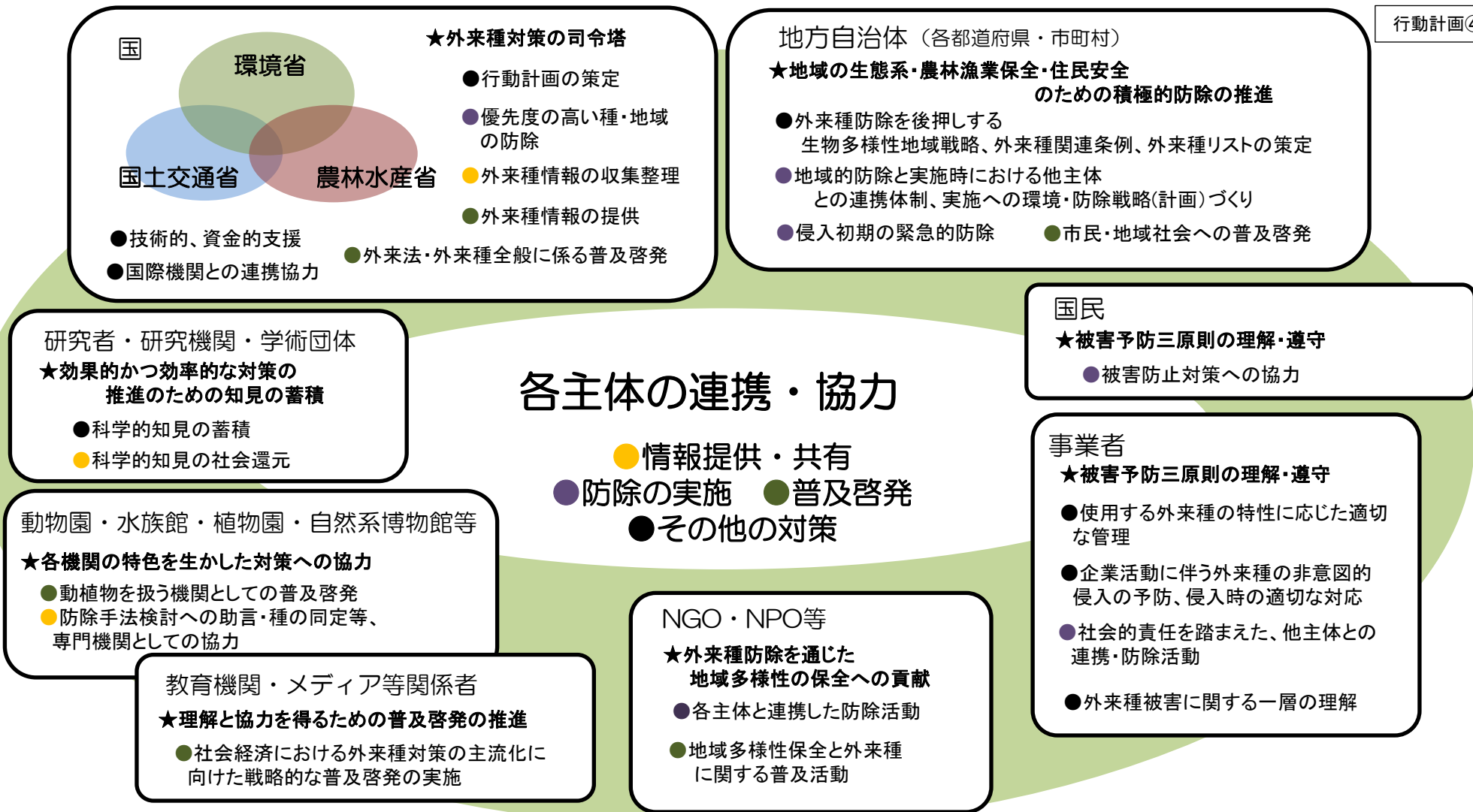


図6. 外来種対策の主流化に向けた戦略的な普及啓発の段階と目標

(「第2章 基本的な考え方及び行動指針

第1節 社会において外来種対策を主流化するための基本的な考え方

1 外来種対策の理解と協力を得るための普及啓発の推進」に挿入)



★2020年愛知目標の達成

図7. 各主体の連携・協力の体制と役割分担

(「第2章 基本的な考え方及び行動指針  
第2節 各主体の役割と行動指針」  
に挿入)